

## 冬のエコライフチャレンジ取組み結果

平成22年4月  
環境政策課管理係

### 1 市民モニター募集・参加世帯

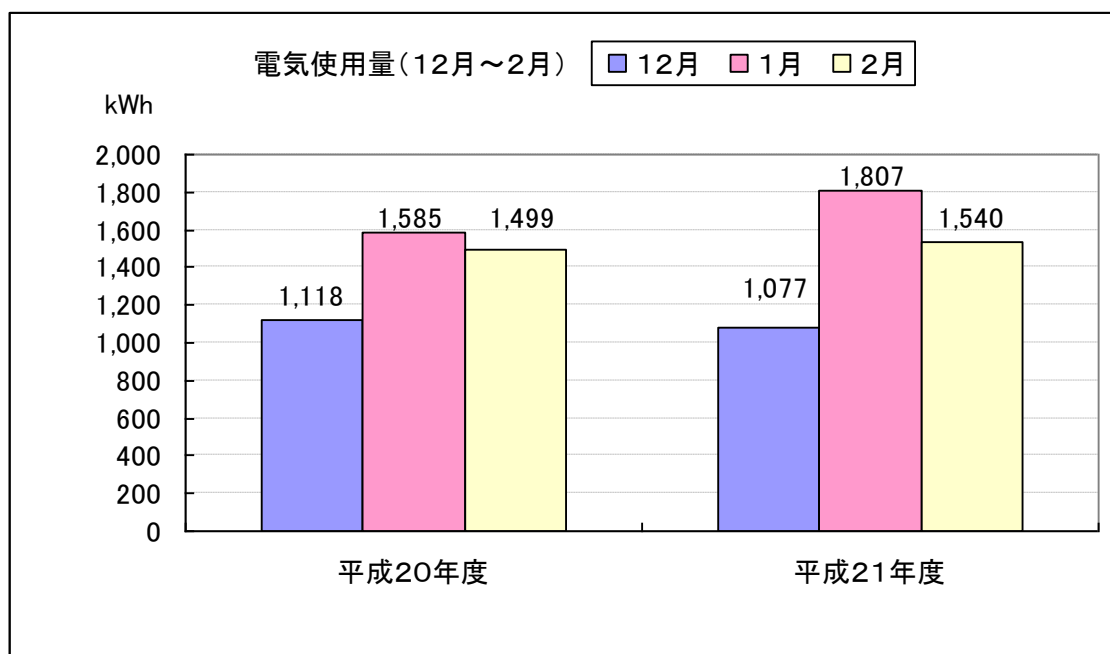
11月に市民モニターを再募集したところ、1世帯の応募があり、参加世帯数は6世帯となりました。その内、3世帯から報告がありました。

### 2 冬のエコライフチャレンジ結果

平成21年12月から平成22年2月にかけて、3か月分の電気使用量と、家庭における省エネ活動について報告していただきました。

#### (1) 電気使用量

モニター全世帯の電気使用量の合計を、昨年と今年で比べてみました。



この冬、電気使用量の削減に成功したのは参加世帯の内1世帯だけでした。全世帯では1月が特に電気使用料が多く、増加しています。

青梅の平均気温が各月とも昨年より低かったことが影響したのか、夏と比べて電気使用量の削減が難しかったと思われます。

3か月合計の電気量は、昨年同時期と比べて222キロワット、5.3%増加しました。二酸化炭素排出量を計算すると、約81.6kgにあたります。

## (2) 省エネ活動内容

モニター世帯から報告された実践方法を紹介します。

暖房	電気カーペットの使用を止めた。 ガスファンヒーター暖房をシーリングファンで循環させた。 エアコンをほとんど使わない。 お風呂の残り湯で湯たんぽをする。
照明	各部屋の灯りは消灯を心がけている。 長時間照らす所は蛍光灯タイプの電球に交換した。
節水	超節水タイプの洗濯機に取り替えた。
その他	買い物等できる限り自動車でなく自転車で行く。 冬は家族が時間をつめてお風呂に入るようにする。 体を温める食品を摂るようにする。

## (3) 御意見・感想

◇家族は二人ですが、仕事上パソコン使用時間が増加して昨年より夜間使用時間数が上がったと思います。

◇昨年に比べ毎月30キロワットほど電気量が減ったのは、電気カーペットの使用を止めた事が大きいと思う。次に検討しているのは、LED照明。まだ高価なので、もう少し値下がり時期を見て、居間とダイニングは交換するつもり。

◇冬場の電気代はそのほとんどが暖房費です。今回の比較では正月に帰省しなかったこと、暖房使用時間が増えたことが原因と考えられるCO2増加という結果がでてしまいましたが、挽回すべくきりつめていきたいと思います。

## 3 最後に

21年度のエコライフチャレンジに御協力くださったモニターの皆様、ありがとうございました。これからも省エネ活動を続けてくださいますよう、お願い申し上げます。